

地域の絆<sup>きずな</sup>で子どもたちを事故<sup>しご</sup>や犯罪<sup>はんざい</sup>から守りましょう。

水の事故から守りましょう。

- 遊泳は、保護者が同行して見守りましょう。
- 釣りなどは、子どもだけで行かず、保護者等、大人が同行しましょう。
- 釣りなど水辺の遊びをする時は、ライフジャケットを着用しましょう。
- 緊急時は、周囲の人に助けを求め、119番へ通報しましょう。



交通事故から守りましょう。

道路への飛び出しは、大変危険です!

- 道路を横断するときは、手を挙げて、左右の安全を確認しましょう。
- 自転車も交差点では、一旦停止をして、左右の安全を確認しましょう。
- 自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶりましょう。



あいさつ、声かけ、見守り運動で子どもたちを守りましょう。

- 日頃のあいさつ、声かけで、人と人とのつながりを深め、豊かな人間関係を築きましょう。



「おはようございます」「おつかれさま」「今日も元気ね」「気を付けてね」

- 「ながら見守り」で子どもたちを温かく見守り、育てましょう。

散歩しながら、農作業しながら、家事をしながら、

買い物をしながら、子どもたちの様子を見守りましょう。



大木町では、令和2年6月2日に町内の水路で発生した小学生の水難事故をふまえて、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの生命や安全を守る日として、この日を「大木町安全の日」と設定しました。